

# 人生の選択 進路だより

## 第17号

発行日：2021.9.9(木)

### 〈今後の主な予定〉

9/27(月)～

「校長面接」開始  
(1組から)

10/1(金)

「第3回実力テスト」

10/22(金)

・「進路説明会」  
・「前期通知票」配布  
※前期評定=私立用  
調査書評定 判明  
・「第1回保護者連絡票」  
配布(=私立用調査  
書記載事項確認及び  
同意書)

～10/28(木)

・「第4回進路希望調査」  
提出日  
・「学校説明会等参加  
事後報告書 兼 推薦  
希望届」提出〆切日  
※早めに提出して下さい。

10/28(木)・29(金)・  
11/1(月)

「二者面談」

11/4(木)～11(木)

「三者面談」

～11/15(月)

「進路希望最終確認書」  
提出(進路希望先決定)

### 【第3回進路希望調査を受け取った感想…心配な生徒が多い…】

これまで3度行った進路希望調査では、提出する時点での志望校を記入し提出してもらいましたが、中には**実際の受験を想定して書かれていなかったり**、この世に存在しない高校名や学科名、入試形態を書いている人もいました。受験を初めて経験する人がほとんどなので仕方がない面もありますが、**明らかに事前の下調べが不十分な人がおり、今後が心配**です。ある有名な人物が、仕事ができない人の特徴を「**情報不足・行動不足・想像不足**」と言っていましたが、これは受験でも同じです。情報不足とは**受験に関するあらゆる知識や最新情報が不足している**ということ、行動不足とは**受験情報を集めるための努力が不足している**あるいは**受験勉強そのものが不足している**ということ、想像不足とは**情報や行動が不足していることが自分の受験にどのような影響を及ぼすかを想像できていない**ということです。受験の結果があなたの人生をすべて決めるわけではありませんが、**少なくともあなたの人生に大なり小なりの影響を与えることは間違いありません**。まだ受験と本気で向かい合えていない人は、今ならまだ間に合いますので頑張りましょう！

### 【志望校の順位付けについて】(参考例)

上記にも記載したように、実際の受験を想定しながら志望校を選んでいない生徒も多いことから、志望校の順位付けの参考例をいくつか示したいと思いますので、次回の第4回進路希望調査を記入する際の参考にしてみてください。

#### 〈例1〉公立高校が第1希望で、第2希望以下でおさえ(安全校)として 私立高校の受験を考えている場合(偏差値52前後の生徒を想定)

希望 順位	公立 私立	高校名	学科名 コース名	受験区分
①	公立	千葉県立我孫子高等学校 (※1)	普通科	一般選抜
②	私立	日本体育大学柏高等学校	アドバンストラリーニ ングコース(※2)	併願推薦 (※3)
③	私立	日本体育大学柏高等学校	アドバンストラリー ニングコース	一般受験

※1 千葉県公立高等学校の入試回数は、昨年度からそれまでの前期・後期の**2回から1回に変更**している。実際の受験を想定するのであれば、**基本的に1校のみの選択**となる。なお、**公立高校を受検し、合格した場合は必ず入学することになる(他校への進学は不可)**。

※2 新設されたコース(旧進学コース)。今年度より**学科名やコース名が変更**になっている学校が他にもあるので、志望校の最新情報を要確認。

※3 推薦基準は、提示されている評定をクリアすること以外に、**出欠等が関係する高校もある**ため、学校説明会等に参加し**確実な情報**を入手すること。なお、本校のように二期制(前期・後期)の中学校の場合、推薦基準の対象評定を**3年の前期評定または後期の中間評定**としている高校が一部あるが、**本校では前期評定のみが推薦基準の対象評定**となる(後期の中間評定は、評価材料が少なすぎる等の理由から公正な評定が出せないため、本校では推薦基準の対象評定にはしていない)。  
(次号に続く)